

支払い方法（現金とキャッシュレス決済）

日本は諸外国に比べて現金の使用率が高い国です。数年前まで、日本ではキャッシュレス決済は海外ほど普及していませんでしたが、近年、様々なキャッシュレス決済が急速に普及し、決済手段として定着してきました。

日本での支払い方法

現金

現金は日本中どこでも、どんな場面でも使えます。中小の商店や商店街、病院や診療所などでは、クレジットカードやキャッシュレス決済を受け付けず、現金のみを扱うところもあります。地方に行くと、小さな商店やローカル線、寺社の拝観料、個人経営の旅館やレストランなどでは、現金でしか支払いができない場合があります。



電子マネー（E-money）

日本の電子決済は、交通系電子マネー（Suicaやnimocaなど）や店舗系電子マネー（nanacoやWAONなど）など、カード型が中心です。

電子マネー(E-money)は事前にお金を預けるプリペイド方式です。



クレジットカード

クレジットカードは、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ショッピングモール、レストランなど、日本の日常生活のさまざまな場所で利用できます。

日本で使える2大クレジットカードはVISAとMastercardで、クレジットカードが使える店では広く利用できます。日本のクレジットカードブランドであるJCBも人気があります。アメリカン・エクスプレスとダイナースクラブは、店舗によっては使えない場合があります。



QRコード決済（スマートフォン決済）

QRコード決済はスマートフォンを利用した決済アプリで、クレジットカードと連携することができます。

アプリで出費を管理できるので、お金の管理がとても便利です。

「PayPay」「LINE Pay」「楽天ペイ」など、さまざまな種類のアプリがあります。

